

合格する上で大切だと感じたこと



取得した資格：一級建築士
資格取得年度：令和2年度

にのみや しんたろう
二宮 慎太郎*

1. 受験の動機・経緯

昔、テレビで一級建築士のことを知った時から、一級建築士取得は将来の夢の一つでした。就職して、周りの上司や先輩が一級建築士を持っており、素直に「カッコいい」と感じ、より一層、一級建築士を取得したいと思い、2年目の秋から本格的に試験勉強を始めました。その後、学科試験は初受験で合格できましたが、製図試験は不合格となりました。不合格になった時は本当に悔しく、泣きたい気持ちを抑えながら仕事をしていたことを今でも覚えております。次は絶対に合格しようと思い、翌年の春、一から勉強をやり直し、何とか合格することができました。

ここでは、試験を通して個人的に大切だと感じたこと、特に一度不合格を経験し、苦労した製図試験を多めに書かせていただきます。今後受験を控えている方に少しでも参考にしていただければ幸いです。

2. 学科試験対策

学科試験で私が大切だと感じたことは、「細かく作戦を立て、勉強すること」です。

学科試験は5科目125点満点ですが、満点を取る必要はありませんので、「各科目で何点を取るのか」「どの分野は確実に点数を取るのか」など細かく作戦を立て勉強を進めました。私の場合、法規と構造

は配点が高く、比較的得意な科目であったため、最低25点以上を目標に、ほかの科目よりも重点的に長い時間をかけて勉強を行いました。逆に計画と環境設備は苦手な科目だったので、12点以上と少なくとも合格基準点は上回るように、基本的な内容や過去問の内容を中心に勉強を行いました。その結果、資格学校の模試でも最低合格ラインを安定して取ることができ、初年度で合格することができたと考えております。

勉強方法については、特別なことはしておらず、過去問や資格学校の問題集を中心に進めました。出題範囲が広いため、電車の中や昼休みなど隙間時間を活用して勉強することが有効だと思います。

3. 製図試験対策

不合格の反省も踏まえ、私が大切だと感じたことは2つあります。

1つ目は「拘らないこと」で、これはエスキス時に大切だと感じたことです。製図試験のエスキスでは、「課題文通りにならない」「要求室が入らない」等と行き詰まるが多々あります。その時、今のゾーニングやプランに拘ってしまうと、手が止まって時間だけが過ぎてしまい、結果エスキスも作図も中途半端なまま終わってしまいます。私が不合格になった時も、拘ってしまったため作図の時間が足り

ず、大きなミスをして不合格となってしまいました。その反省から、2回目の製図試験に向けては、エスキス時に行き詰った際に、今考えているプランに拘らないで別のプランで考えるようにしました。結果、慣れてくれば数パターンのエスキスプランから取捨選択して進めることができ、エスキスがまとまらないということは少なくなり、作図時間もある程度確保することが出来るようになりました。エスキスにおいては、今考えているプランに拘らないで、思い切って別のプランで考えてみる事が大切だと考えます。一度、宿題などで試してみると良いと思います。

2つ目は「チェック」です。個人的には、製図試験に合格するためには「チェック」なしでは合格できないと思うぐらい大切だと思っています。実際の製図試験当日は想像を絶する雰囲気、物凄い緊張感の中、試験に臨みますが、そんな中でいつも通り試験に向き合える人間はほとんどいないと思います。私自身、手は震え、頭は真っ白になるほど緊張しました。それに加え、近年の製図試験は「法規のミスがあれば不合格（ランクⅣ）」「課題文の条件を満たしていなければ不合格（ランクⅢ）」とかなり厳しい試験になっています。そのため、段階的に細かく

チェックを行い、「法規のミスをしてないか」「課題文の条件を満たしているか」等、確認をすることが大切だと感じました。私は性格上、思い込みがひどく、課題条件の読み落としや、法規のミスをしていることが多かったので、エスキスを行っている最中、チェックばかり繰り返していました。その結果、きれいなプランではありませんが、不合格になる要素を極力減らすことで、合格することができたと考えております。合格するためにも「チェック」だけは怠らない方が良いと思います。

4. おわりに

これまで、私自身大切だと感じたことを書かせていただきましたが、試験全体を通して大切なことは「最後まで諦めないこと」だと思います。勉強中においても、試験中においても、最後まで諦めずとことん向き合えば、結果は付いてくると思いますので、最後まで頑張ってください。

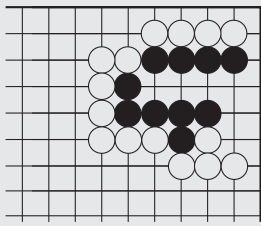
最後に、試験勉強を行うにあたって、仕事量の調整やアドバイス、応援をしてくださった皆様に改めてこの場をお借りして感謝したいと思います。

【著者紹介】 二宮 慎太郎 (にのみや しんたろう)

平成29年国土交通省近畿地方整備局入省（建築職）。令和元年まで営繕部整備課構造係にて設計補助を担当。令和2年から建政部住宅整備課にて市街地事業に係る補助金業務を担当。

詰 碁

黒 先




出題 土井 誠 八段

〔ヒント〕
簡単に生きているようですが…。

〔あなたの棋力は？〕
5分……………初段
(解答は78頁)

詰 将 棋



出題 石田 和雄 九段

〔ヒント〕
角捨てを決め手にする。

▲先手
持駒 飛 桂
八 九

〔あなたの棋力は？〕
5分……………二段
10分……………初段
(解答は78頁)